

進路だより

能代支援学校進路指導部

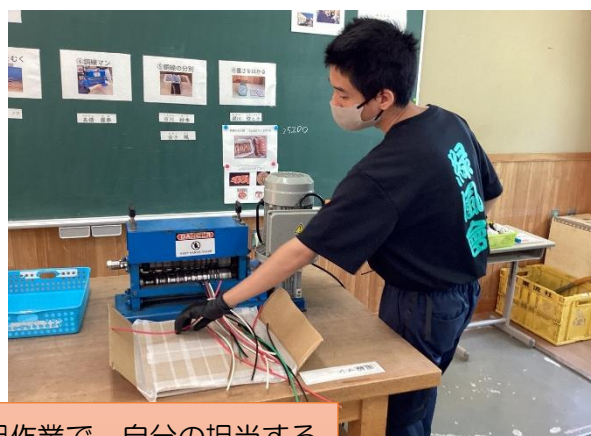
進路だより No.2

令和8年7月23日発行

高等部1年生校内実習

6月22日から7月3日までの前期実習は、高等部1年生は校内実習になります。「しらかみ銅線工場」「のしろ農園」「スマイル清掃」の三つの模擬会社を立ち上げ、A組、B組に分かれて実習を行いました。午前は、1週目、2週目で、A組とB組を入れ替えし、「しらかみ銅線工場」で銅線ケーブルの皮むき作業、「のしろ農園」で花壇の植え替えや梨、りんごの摘果と袋掛け作業を行いました。午後は、ダストクロスでの床清掃、スクイジーを使用しての窓拭きを行いました。初めて実習を経験する生徒もあり、学校生活とはまた違った雰囲気の中で「働く」経験を積み重ねることができました。

しらかみ銅線工場



分担作業で、自分の担当する作業を、責任をもって取り組みました。出来高の軽量では、前日よりも多くなるとみんな、うれしそうでした。



のしろ農園



暑い中での外作業でしたが、能代の風を感じながら、「ここは、やった?」「次いくよー!」など、言葉を掛け合いながら活動に取り組みました。



高等部棟を中心に、校内中をきれいにし、他学部の先生たちからも感謝されました!

スマイル清掃



外部から受託した銅線作業では、安全に、集中する力、農園作業では進んで活動する力、清掃作業では丁寧に道具を正しく扱う力など、今回の実習で、たくさんの「働く力」を発揮している姿を見ることができました。1週目は、「実習」と「学校の勉強」どちらがいいか?の質問に対して、「学校で勉強の方がいい」という意見が半数以上ありましたが、2週目に同じ質問をしたところ、ほぼ全員が「実習を続けたい」と答えました。

実際に働くことでしか身に付かない力を経験し、自信につながったからだと思います。将来「働かなきゃ」ではなく「働きたい!」と言える人になってほしいと思っています。